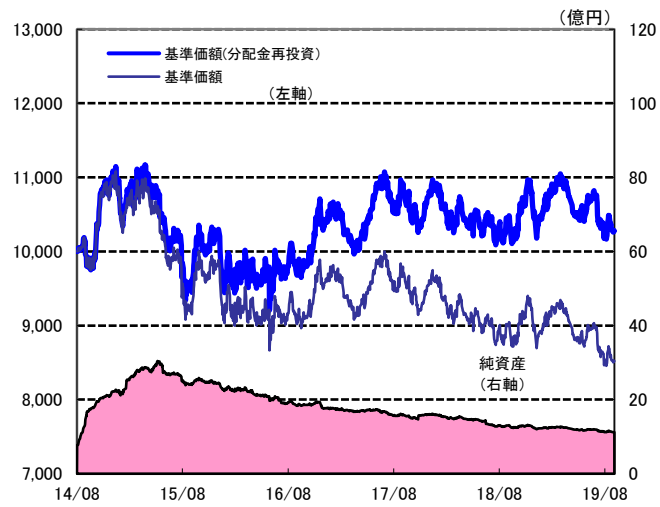




運用実績

2019年9月30日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

・右記の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、直近1か月の基準価額騰落率の要因を円貨にて表示しております。

基準価額※	8,521 円
※分配金控除後	
純資産総額	11.2 億円

- 信託設定日 2014年8月29日
- 信託期間 2024年8月13日まで
- 決算日 原則、毎月12日
 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率	
期間	ファンド
1か月	0.7%
3か月	-3.8%
6か月	-6.3%
1年	-1.5%
3年	5.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	2.8%
-----	------

設定来=2014年8月29日以降

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2019年9月	30 円
2019年8月	30 円
2019年7月	30 円
2019年6月	30 円
2019年5月	30 円

設定来累計	1,770 円
-------	---------

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

基準価額変動の要因分解(概算)		
要因項目	直近1か月の騰落	
基準価額騰落額(分配金込み)	61円	
為替要因	79円	
債券要因	インカムゲイン	25円
	キャピタルゲイン	-35円
信託報酬等	-8円	

資産内容

2019年9月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
国際機関債/政府機関債	56.5%
地方債	27.5%
事業債	0.0%
国債	12.4%
その他の債券	0.0%
その他の資産	3.6%
合計(※)	100.0%
債券先物	-

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。
 ※純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

格付別配分	
格付	純資産比
AAA	68.9%
AA	27.5%
A	0.0%
BBB	0.0%
BB以下および無格付	0.0%
その他の資産	3.6%
合計	100.0%

・格付は、S&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付で算出しています。

実質外貨比率	98.9%
--------	-------

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	AA
平均クーポン	4.0%
平均直利	3.5%
平均最終利回り	1.3%
平均デュレーション	4.6年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均した(現地通貨建)もの(現地通貨建)です。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

・デュレーション:金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

組入上位10銘柄

2019年9月30日 現在

銘柄	資産	格付	純資産比
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	国際機関債/政府機関債	AAA	18.9%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	17.8%
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債	AAA	8.7%
KOMMUNALBANKEN AS	国際機関債/政府機関債	AAA	8.6%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	7.0%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	6.3%
ASIAN DEVELOPMENT BANK	国際機関債/政府機関債	AAA	5.9%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	5.7%
EXPORT DEVELOPMNT CANADA	国際機関債/政府機関債	AAA	4.0%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	3.8%
合計			86.8%

組入銘柄数: 15 銘柄

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

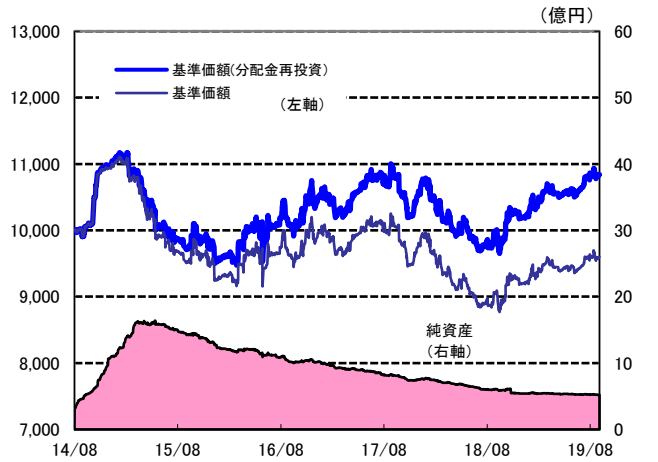


運用実績

2019年9月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化;日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

・右記の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、直近1か月の基準価額騰落額の要因を円貨にて表示しております。

基準価額※	9,599 円
※分配金控除後	
純資産総額	5.2 億円
騰落率	
期間	ファンド
1か月	0.2%
3か月	2.3%
6か月	1.3%
1年	8.8%
3年	7.6%
設定来	8.4%

- 信託設定日 2014年8月29日
- 信託期間 2024年8月13日まで
- 決算日 原則、毎月12日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2019年9月	20 円
2019年8月	20 円
2019年7月	20 円
2019年6月	20 円
2019年5月	20 円

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。			
設定来	8.4%	設定来累計	1,180 円

設定来=2014年8月29日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

基準価額変動の要因分解(概算)		
要因項目	直近1か月の騰落	
基準価額騰落額(分配金込み)	24円	
為替要因(ヘッジコスト込み)	46円	
債券要因	インカムゲイン	28円
	キャピタルゲイン	-39円
信託報酬等	-11円	

資産内容

2019年9月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
国際機関債/政府機関債	55.9%
地方債	27.2%
事業債	0.0%
国債	12.3%
その他の債券	0.0%
その他の資産	4.5%
合計(※)	100.0%
債券先物	-

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。
 ※純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

格付別配分	
格付	純資産比
AAA	68.3%
AA	27.2%
A	0.0%
BBB	0.0%
BB以下および無格付	0.0%
その他の資産	4.5%
合計	100.0%

・格付は、S&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付で算出しています。

実質外貨比率	5.2%
--------	------

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	AA
平均クーポン	4.0%
平均直利	3.4%
平均最終利回り	1.3%
平均デュレーション	4.5年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものを(現地通貨建て)。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。・デュレーション:金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

(ご参考)平均最終利回り(為替ヘッジ後)	-0.0%
----------------------	-------

・平均最終利回り(為替ヘッジ後)は、為替ヘッジ比率を100%と仮定した場合の参考値です。為替ヘッジコスト/プレミアムを反映し、表示しています。

組入上位10銘柄

2019年9月30日 現在

銘柄	資産	格付	純資産比
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	国際機関債/政府機関債	AAA	18.8%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	17.6%
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債	AAA	8.6%
KOMMUNALBANKEN AS	国際機関債/政府機関債	AAA	8.6%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	7.0%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	6.2%
ASIAN DEVELOPMENT BANK	国際機関債/政府機関債	AAA	5.8%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	5.6%
EXPORT DEVELOPMNT CANADA	国際機関債/政府機関債	AAA	4.0%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	3.7%
合計			86.0%

組入銘柄数: 15銘柄

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
 ・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

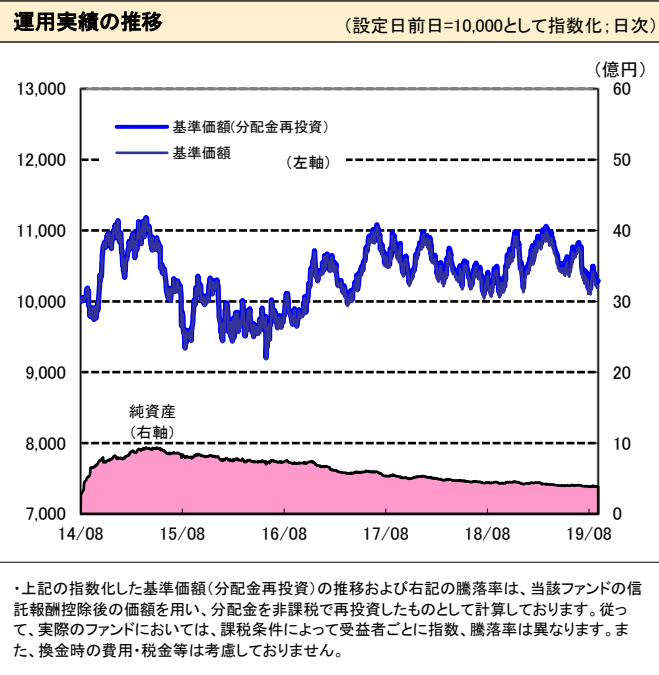
◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



運用実績

2019年9月30日 現在



基準価額※	10,210 円
※分配金控除後	
純資産総額	3.8 億円
騰落率	
期間	ファンド
1か月	0.7%
3か月	-3.8%
6か月	-6.3%
1年	-1.5%
3年	6.0%
設定来	2.9%

- 信託設定日 2014年8月29日
- 信託期間 2024年8月13日まで
- 決算日 原則2月、8月の各12日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万円当たり、課税前)の推移	
2019年8月	10 円
2019年2月	10 円
2018年8月	10 円
2018年2月	10 円
2017年8月	10 円

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。			
設定来	2.9%	設定来累計	80 円

設定来=2014年8月29日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

基準価額変動の要因分解(概算)	
要因項目	直近1か月の騰落
基準価額騰落額(分配金込み)	70円
為替要因	92円
債券要因	インカムゲイン 30円 キャピタルゲイン -41円
信託報酬等	-11円

資産内容

2019年9月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
国際機関債/政府機関債	56.5%
地方債	27.5%
事業債	0.0%
国債	12.4%
その他の債券	0.0%
その他の資産	3.6%
合計(※)	100.0%
債券先物	-

格付別配分	
格付	純資産比
AAA	68.9%
AA	27.5%
A	0.0%
BBB	0.0%
BB以下および無格付	0.0%
その他の資産	3.6%
合計	100.0%

ポートフォリオ特性値	
平均格付	AA
平均クーポン	4.0%
平均直利	3.5%
平均最終利回り	1.3%
平均デュレーション	4.6年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものと(現地通貨建)。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
 ・デュレーション:金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
 ・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。
 ・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・格付は、S&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付で算出しています。
 実質外貨比率 98.9%
 ・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

組入上位10銘柄

2019年9月30日 現在

銘柄	資産	格付	純資産比
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	国際機関債/政府機関債	AAA	18.9%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	17.8%
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債	AAA	8.7%
KOMMUNALBANKEN AS	国際機関債/政府機関債	AAA	8.6%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	7.0%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	6.3%
ASIAN DEVELOPMENT BANK	国際機関債/政府機関債	AAA	5.9%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	5.7%
EXPORT DEVELOPMNT CANADA	国際機関債/政府機関債	AAA	4.0%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	3.8%
合計			86.8%

組入銘柄数: 15 銘柄

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
 ・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ニュージーランド債券オープン
 <為替アクティブヘッジ>(年2回決算型)

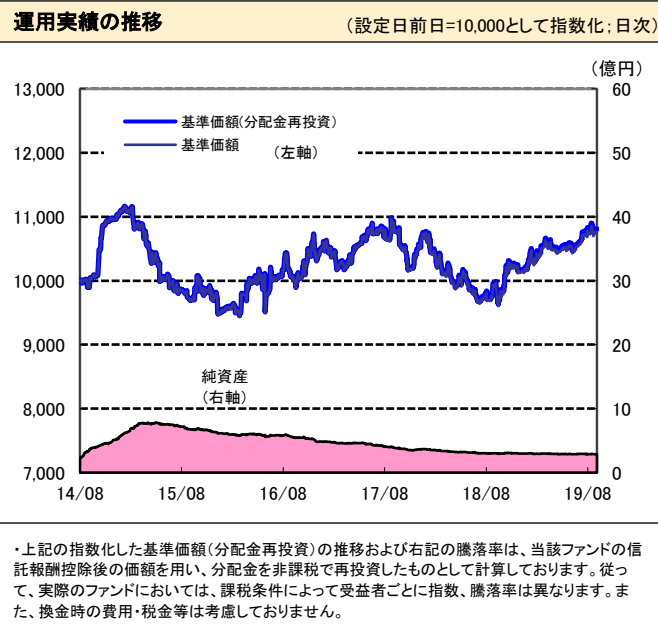
2019年9月30日
 (月次改訂)



追加型投信 / 海外 / 債券

運用実績

2019年9月30日 現在



・右記の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、直近1か月の基準価額騰落率の要因を円貨にて表示しております。

基準価額※	10,760 円	●信託設定日 2014年8月29日 ●信託期間 2024年8月13日まで ●決算日 原則2月、8月の各12日 (同日が休業日の場合は翌営業日)	
純資産総額	2.9 億円		
騰落率		分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
期間	ファンド	2019年8月	10 円
1か月	0.3%	2019年2月	10 円
3か月	2.3%	2018年8月	0 円
6か月	1.3%	2018年2月	10 円
1年	8.7%	2017年8月	10 円
3年	7.5%		
設定来	8.1%	設定来累計	50 円

設定来=2014年8月29日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

基準価額変動の要因分解(概算)		
要因項目	直近1か月の騰落	
基準価額騰落額(分配金込み)	27円	
為替要因(ヘッジコスト込み)	51円	
債券要因	インカムゲイン	31円
	キャピタルゲイン	-43円
信託報酬等	-12円	

資産内容

2019年9月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
国際機関債/政府機関債	56.0%
地方債	27.2%
事業債	0.0%
国債	12.3%
その他の債券	0.0%
その他の資産	4.4%
合計(※)	100.0%
債券先物	-

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。
 ※純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

格付別配分	
格付	純資産比
AAA	68.4%
AA	27.2%
A	0.0%
BBB	0.0%
BB以下および無格付	0.0%
その他の資産	4.4%
合計	100.0%

・格付は、S&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付で算出しています。

実質外貨比率	5.7%
--------	------

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

ポートフォリオ特性値	
平均格付	AA
平均クーポン	4.0%
平均直利	3.4%
平均最終利回り	1.3%
平均デュレーション	4.5年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(クーポンレート、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものを(現地通貨建)。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。・デュレーション:金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。・平均格付とは、基準日時点で投資信託資産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

(ご参考)平均最終利回り(為替ヘッジ後)	-0.0%
----------------------	-------

・平均最終利回り(為替ヘッジ後)は、為替ヘッジ比率を100%と仮定した場合の参考値です。為替ヘッジコスト/プレミアムを反映し、表示しています。

組入上位10銘柄

2019年9月30日 現在

銘柄	資産	格付	純資産比
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	国際機関債/政府機関債	AAA	18.8%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	17.7%
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債	AAA	8.7%
KOMMUNALBANKEN AS	国際機関債/政府機関債	AAA	8.6%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	7.0%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	6.3%
ASIAN DEVELOPMENT BANK	国際機関債/政府機関債	AAA	5.8%
INTL BK RECON & DEVELOP	国際機関債/政府機関債	AAA	5.6%
EXPORT DEVELOPMNT CANADA	国際機関債/政府機関債	AAA	4.0%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債	AA	3.7%
合計			86.1%

組入銘柄数: 15 銘柄

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
 ・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細のご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ニュージーランド債券オープン

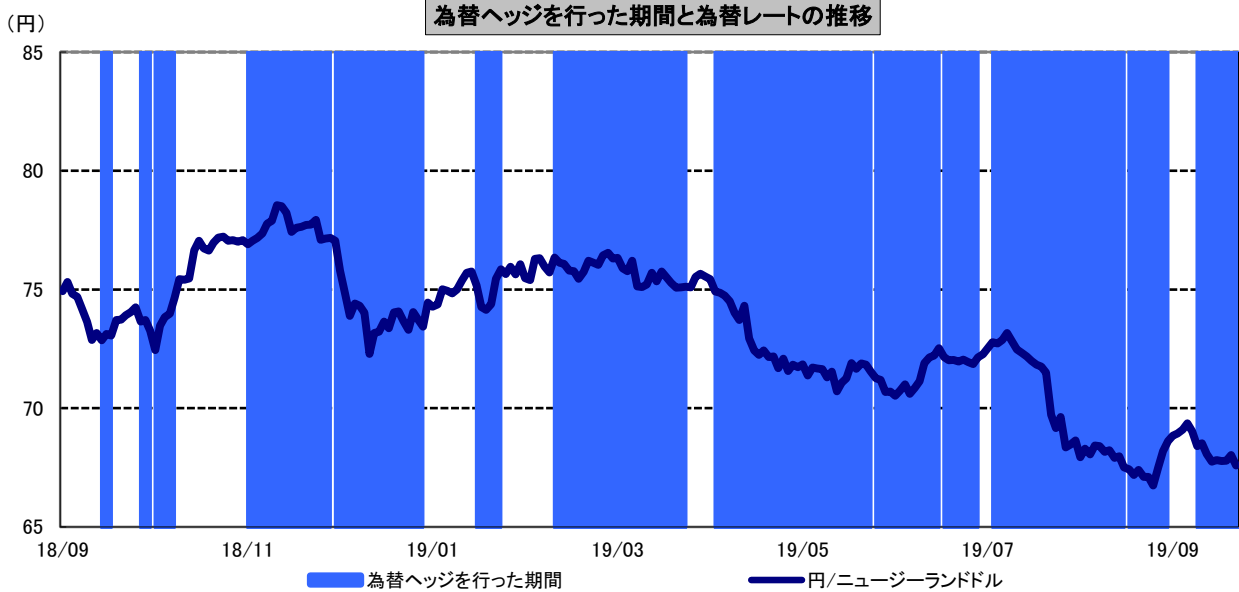
<為替ヘッジなし> (毎月分配型) / <為替ヘッジなし> (年2回決算型)
 <為替アクティブヘッジ> (毎月分配型) / <為替アクティブヘッジ> (年2回決算型)

2019年9月30日
 (月次改訂)



追加型投信 / 海外 / 債券

<為替アクティブヘッジ> (毎月分配型 / 年2回決算型) の為替ヘッジを行った期間と為替レートの推移 (日次) 2019年9月30日 現在



- ・出所: シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドとブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成
- ・<為替アクティブヘッジ> (毎月分配型 / 年2回決算型) においては、実質組入外貨建資産について、金利変動や市場全体のリスクの高まり等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。当面は、為替ヘッジ比率は0%または約100%を基本としますが、当ヘッジ比率は将来変更される場合があります。
- ・上記為替アクティブヘッジ戦略が必ずしも円高局面における為替ヘッジを保証するものではありません。また、為替ヘッジを行っている局面で円安になる可能性があります。したがって、局面によっては<為替アクティブヘッジ>のパフォーマンスが<為替ヘッジなし>を下回ることがあります。
- ・<為替アクティブヘッジ> (毎月分配型 / 年2回決算型) では、機動的に為替ヘッジを行うことで、中期的に為替変動リスクの低減とリターン改善を目指しますが、その成果を保証するものではありません。
- ・資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

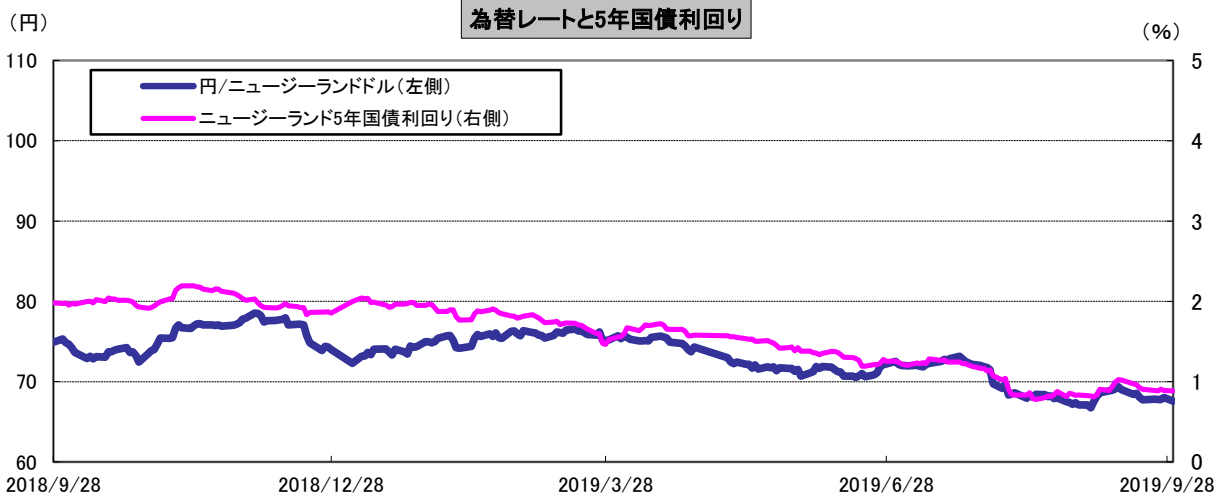
	<為替アクティブヘッジ> (毎月分配型)	<為替アクティブヘッジ> (年2回決算型)
為替ヘッジ比率	94.6%	94.2%

・為替ヘッジ比率は、各ファンドが保有する実質組入外貨建資産(現金等を含む)に対する比率をいいます。
 ・上記は作成基準日における数値を記載しています。

当月に為替ヘッジを行った日数
10営業日 / 19営業日中

・為替ヘッジを行った日数は、営業日ベースで集計しています。

ニュージーランドの為替レートおよび5年国債利回り(日次) 2019年9月30日 現在



・出所: ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○ ニュージーランド経済

RBNZ(ニュージーランド準備銀行)は9月の理事会において政策金利を据え置きました。声明文では、必要であればさらなる金融緩和の余地があるとの認識が示されました。経済指標では、4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率が市場予想を上回る伸びとなりました。月末に発表された9月の企業景況感は、前月からさらに悪化しました。

○ 債券市場 <国債の利回りは小幅上昇>

米中通商協議が進展することへの期待が高まったことを受けて、ニュージーランド国債の利回りは小幅な上昇(価格は下落)となりました。

○ 為替市場 <ニュージーランドドルは対円で上昇>

米中の貿易摩擦が緩和するとの期待を背景に円安となったことから、ニュージーランドドルは対円で上昇となりました。また、RBNZのオア総裁が、これまでの利下げがもたらした結果に満足している、現状の見通しにおいては非伝統的な金融政策が必要になる可能性は小さいとの見解を示したことなどもニュージーランドドルの上昇要因となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ 先月の基準価額は、為替ヘッジなし(毎月分配型・年2回決算型)では、ニュージーランドドルが対円で上昇したことによって、上昇となりました。為替アクティブヘッジ(毎月分配型・年2回決算型)は、ニュージーランドドルが上昇した局面において為替ヘッジをしたことなどから、上昇幅が相対的に小さくなりました。

○ 運用経過(マザーファンドベース)

◆デュレーション: 月末時点でのファンドのデュレーション(※)は、前月から概ね変わらずとしました。

(※)デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

◆セクター・アロケーション(種別債券配分): 利回り水準・信用力を勘案して、国際機関債/政府機関債など高格付けの債券の投資比率を高めとしました。

◎為替アクティブヘッジ(毎月分配型・年2回決算型)では、先月の為替ヘッジ日数は10営業日でした。

今後の運用方針 (2019年9月30日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

今後の投資環境見通しは次の通りです。

ニュージーランドの堅調な経済成長を背景に、ニュージーランドドルは対円で安定的に推移すると考えています。

債券については、当面はRBNZが緩和的な金融政策を維持すると見込まれることから、債券利回りは安定的に推移すると想定しています。国債以外の国際機関債/政府機関債等についても、利回りの安定的な推移を想定しています。

今後の運用方針は次の通りですが、投資環境の変化に対し、柔軟に対応していきます。

◆ ファンドデュレーション

グローバルな経済環境の変化やニュージーランドの政策金利見通しを見極めながらコントロールします。

◆ セクター・アロケーション

利回り水準・信用力を勘案してアロケーションを決定します。足元の環境では、引き続き国際機関債/政府機関債を中心としたポートフォリオとする見込みです。

◎為替アクティブヘッジ

実質組入外貨建資産については、グローバル関連の指標と、日本とニュージーランドの金利動向の2つの指標について定量分析を行ない、為替ヘッジ比率を決定します。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にも帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。
- ニュージーランドドル建ての公社債(国際機関債、政府機関債、準政府債(州政府債)、国債、社債等)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「ニュージーランド債券オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは、為替ヘッジ手法(「為替ヘッジなし」と「為替アクティブヘッジ」)、分配頻度(「毎月分配型」と「年2回決算型」)の異なる、4本のファンドで構成されています。
- 投資する公社債は、原則として、投資時点においてBBB-格相当以上の格付(投資適格格付)を有する公社債、または同等の信用度を有すると判断される公社債とします。
- 公社債への投資にあたっては、金利水準、流動性、信用力等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。
- 「為替ヘッジなし」においては、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 「為替アクティブヘッジ」においては、実質組入外貨建資産について、金利変動や市場全体のリスクの高まり等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。
※当面は、為替ヘッジ比率は0%または約100%を基本としますが、当ヘッジ比率は将来変更される場合があります。
- 「為替アクティブヘッジ」の運用にあたっては、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに、為替取引等に係る運用の指図に関する権限の一部を委託します。

《シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド》

- シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドは、シティグループ・インク傘下の投資運用会社です。
- シティグループ・インクは、個人、法人、政府および団体を対象として、個人向け銀行業務やカードビジネス、法人・投資銀行業務、証券業務、トランザクション・サービス、ウェルス・マネジメントの分野において、幅広い金融商品およびサービスを提供する、グローバルな総合金融持株会社です。

シティグループ・インク/シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドは、世界中で使用・登録されているシティグループ・インクまたはその関連会社の登録商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社が利用許諾に基づき使用しています。

- ファンドは「ニュージーランド債券オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 構成するファンド間でスイッチングができます。
- 「毎月分配型」は、原則、毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。「年2回決算型」は、原則、毎年2月および8月の12日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2024年8月13日まで(2014年8月29日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月12日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、毎年2月および8月の12日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 構成するファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ウェリントン銀行 ・オークランド銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.2%(税抜2.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に以下の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 <為替ヘッジなし>年1.133%(税抜年1.03%) <為替アクティブヘッジ>年1.353%(税抜年1.23%)
◆その他の費用・手数料	組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行う者]

<受託会社>

三菱UFJ信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行う者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

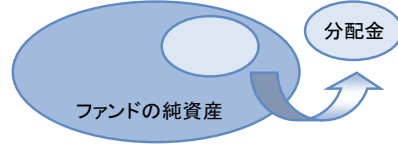
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



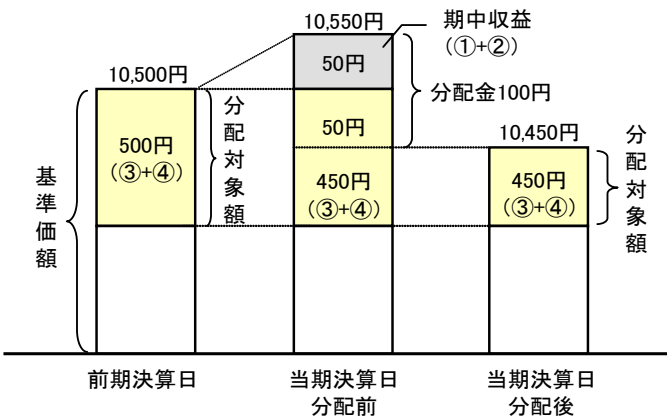
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行う場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

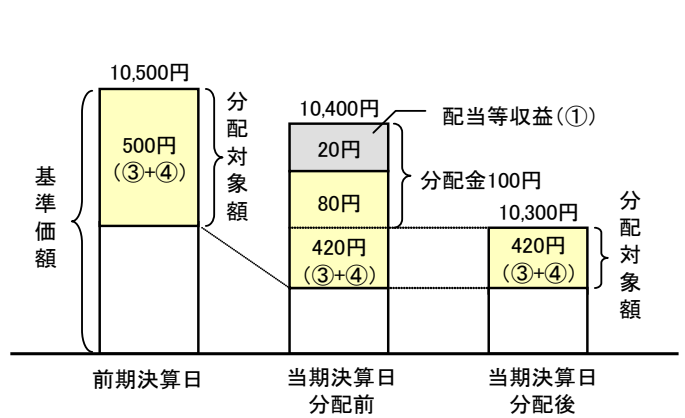
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

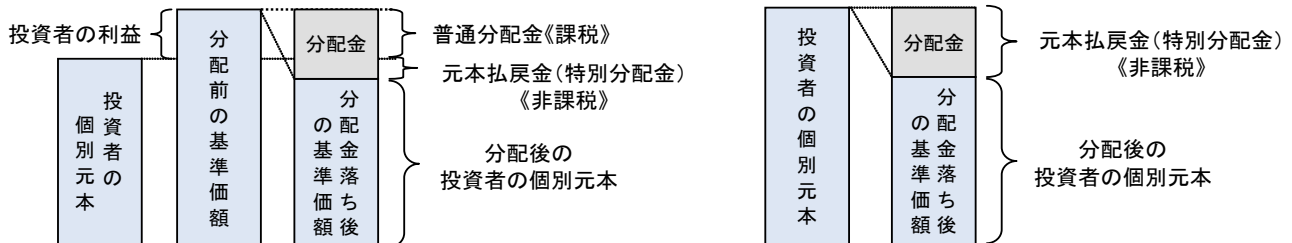


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金) (特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ニュージーランド債券オープン <為替ヘッジなし>(毎月分配型)/<為替ヘッジなし>(年2回決算型)
 ニュージーランド債券オープン <為替アクティブヘッジ>(毎月分配型)/<為替アクティブヘッジ>(年2回決算型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。